

岐阜県地域学校協働活動事例報告書

◆市町村名

土岐市

◆本部名（類似の仕組みを含む）

土岐市立妻木小学校「地域・学校づくり協議会」

◆組織図



◆推進員等人数

	有無	人数
地域学校協働活動推進員（委嘱有）	○	4人
コーディネーター	○	1人
学習支援員		
協働活動支援員		
協働活動サポーター		
その他ボランティア	○	240人

◆活動の対象となる学校

土岐市立妻木小学校

◆推進員等（コーディネーター）の立場・活動

・学校運営協議会の中に設置した「地域・学校づくり協議会」が地域学校協働活動本部の役割を担っている。推進委員に委嘱されている会長が中心となり「生活・学習支援部会」「安全・環境整備部会」「地域交流・ボランティア部会」の3つの部長と協力して、地域と学校の活動をコーディネートしている。
 ・3つの部長が中心となることで住民が主体的で効率的に活動できる体制が確立している。

◆活動の内容

内容	実施	主な協力団体等	場所		
			授業内	授業外	地域
① 学習支援（以下を除く）	○	放課後教室 妻木小PTA	○	○	
② 郷土学習	○	妻木城址の会 地域指導者 地域企業	○	○	○
③ 安全・防災	○	妻木公民館 民生児童委員会		○	
④ 自然体験活動	○	青少年育成会ボランティア協議会	○		○
⑤ スポーツ・部活動支援					
⑥ 環境整備	○	妻木いきいきクラブ		○	
⑦ その他（伝統文化継承）	○	妻木町区長会 土岐市流鏝馬保存会	○	○	○

◆活動保険

	有・無	料金	保険名
児童生徒	有	920円/年	（独）日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度
推進員・ボランティア等			

◆活動の工夫や効果

・地域の10の団体を整理して、3つの部会に組織化した。各部会の部長が指南役を務め、外部機関との窓口となり連携協力が円滑に行われている。
 ・「学校報：しろやま」に学校運営協議会のコーナーを設け、毎月の活動の様子について、妻木地区の全世帯に配布し、理解を進めている。
 ・活動当初は、「コミュニティ・スクールは本当に必要なのか」という思いであったが、地域の方々と将来のふるさと子ども達への願いを交流する場を何度も設け、目指す姿を共有してきた。参加する地域の方々（特に高齢者）は、知恵や経験を子ども達に伝承する機会を通して、自己有用感を感じ、労を惜しまず積極的に関わる姿が生み出されている。この地域の協力・組織を基盤とした、持続可能な体制の確立ができています。
 ・地域の協力のもと地域学習を充実させることで、地域の人・産業・自然のよさを体験を通して段階的に学び、豊かに成長する中で、「ふるさと妻木」を知り、地域への愛着を深めている。



指導者の方がパイプ役を務め、地域の企業（JA）の支援を受けて野菜の栽培

◆問い合わせ先

担当課・係	土岐市教育委員会 生涯学習課
連絡先	0572-54-1111